

令和7年第3回生活支援体制整備部会（第1層協議体兼地域ケア推進会議）について

日時：令和7年12月19日（金）午後4時から午後5時

場所：市役所7階 大会議室

出席者：福祉部介護保険課 田中副部長 貞松課長 田村課長補佐 米崎事務員
生活支援体制整備部会員（※別添名簿）（内、欠席者2名）

傍聴者：2名

1. 開会

- ① 新部会員 就任挨拶
- ② 部会成立確認
- ③ 資料確認

2. 報告及び協議事項

(1) 次第2川西市訪問型支えあい活動支援事業「笑顔ミライおうえん団」について

①事業状況の報告（※事前配布資料1 参照）

申請状況については、現時点では、9団体が概算払いの申請を行っている。そのうち3団体が車両を利用した外出支援のみを行っている団体。

②広報誌の紹介

「広報かわにしmilife 10月号」

広報誌へ掲載された、外出支援を中心とした「笑顔ミライおうえん団」、「笑顔ミライちょきん」、「福祉と医療の総合情報サイトかわにしサポートナビ」の特集記事を紹介

③地域活動の紹介

・「東谷地区福祉委員会 ここほっとコーディネーター会議」

訪問型支えあい活動を行っている「ここほっと」は、脚立を使用しなければならぬ高所や植木の剪定など、「ここほっと」では行えない活動（活動者に高齢者もおり、危険なため）の依頼があれば、連携している地区内の就労継続支援B型事業所「ほなやろか」へ依頼している。

コーディネーター会議には、事業所の管理者も出席し活動内容の共有を行っている。事業所の利用者も地域とつながることで新たな効果が生まれている。

生活支援コーディネーターが、東谷地区以外の訪問型支えあい活動団体にも地区内の事業所等とつながる新たな取組みを提案していく。

・「東谷コミュニティ協議会乗りっこ開始式」

今年度より外出支援活動を開始した東谷地区の「乗りっこ」の開始式の様子を動画で紹介。NHKの取材もあり、ニュースで放送された。

この地区は、「乗りっこ」の立ち上げを検討する当初から、コミュニティ協議会だけではなく、自治会、地区福祉員会、民生委員が参加している。そのため、地区福祉委員会が受付を担い、自治会長や民生委員が広報を行う等役割分担し、利用者登録も必要と思われる方に、的確に周知された。

・「明峰地区たのみ隊主催の安全運転講習」

明峰地区のたのみ隊代表が川西警察に安全運転講習を依頼することとなり第2層生活支援コーディネーターが他地区の外出支援を行っている活動団体にも参加してもらえばどうかと提案。他地区の活動者も参加し、21名で安全運転講習が行われた。

講習後、グループに分かれて各地区の活動内容などの情報交換などが行われ、外出支援活動者の交流会が必要との声もあった。

今後も、活動者が地区を越えて、意見を交換し協力できる体制のサポートを生活支援コーディネーターが行う。

訪問型支えあい活動は、地域活動団体・生活支援コーディネーター・地域包括支援センターが連携することで、様々な効果が生まれ、活動の継続や発展につながっているため、引き続き生活支援コーディネーターが適切にコーディネートを行っていく。

(質疑なし)

(2)次第2 川西市介護予防・健康ポイント事業「笑顔ミライちょきん」について

①事業状況の報告（※事前配布資料2 参照）

②スマホ講座の開催について

令和7年8月9日に、スマホ講座を市役所で開催した。両日で52名が参加した。

ソフトバンク株式会社の認定講師による「キャッシュレス」「アプリを使った介護予防」の講座後に、笑顔ミライちょきんのアプリのダウンロード、ポイント交換のサポートを行った。

令和8年2月で今年度のポイント付与が終了し、3月中に交換しなければポイントが失効することや地域からポイント交換が難しいという声もあることから、アステ川西1階のイベントスペースにおいて、次の日程で「ポイン

ト交換会」を市が開催する。

〈日程〉

- ・ 2月23日（月・祝）
- ・ 2月28日（土） 3月1日（日）
- ・ 3月18日（水）から3月22日（日）
いずれも午前10時から午後5時まで

（質疑）

- ・ 8月のポイント獲得者が他の月より少ないのはなぜか。
⇒はっきりした検証はできていないが、酷暑が関係しているのではないかと考えている。（夏季や冬季は、地域活動を控える団体もある。）
- ・ 予算が足りなくなり、ポイント交換できなくなるのではないかという不安の声を聞く。
⇒1年で終了するのではないかという声もお聞きするが、この事業は、現時点では、令和8年度まで継続する事業である。3年ごとに事業の更新となるため1年で事業が終了することはない。
予想以上に、多くの方に参加していただいている状況であるため、前年度の状況を把握しながら、予算化していく。
- ・ ポイント交換会は、アステ川西だけではなく、各地区のスーパーなどで行うことを検討するのはどうか。
⇒第2層生活支援コーディネーターからもアステ川西に行くのが難しい方もいるという声を聞いている。ポイント交換のサポートについて今後も検討していく。
- ・ 年間最高ポイント数獲得者を表彰する等、イベント性も必要ではないか。活動種別で最高獲得者を選ぶのはどうか。
⇒最高獲得者はおそらく、ラジオ体操など毎日参加する活動への参加者ではないかと思われるため、訪問型支えあい活動者などが対象になりづらい。
表彰は、活動者のやりがいにつながると思われるため、今後、検討していく。
- ・ この事業の効果検証は行うか。
⇒年度末にアンケートを行い、主観的健康感の変化で評価する予定。

- ・介護予防ポイントだけではなく、健康ポイント参加者数等の周知も必要。
⇒同様の声をいただき、年度途中からではあるが、毎月アプリ内「お知らせ欄」に健康ポイント抽選対象者数、当選者数を掲載している。

ポイント付与対象となる団体申請やアプリのダウンロードの問い合わせも落ち着いたことから、今後は、ポイント交換会や、アプリが福祉と医療の総合情報サイト〈かわにしサポートナビ〉（以下、かわナビとする）と連携していること等、生活支援コーディネーターがアプリの活用を周知していく。

3. 次第2（3）「報告」について

①かわナビについて

- ・全体の登録件数は、

| | |
|-----------|--------|
| 介護保険サービス | 247件 |
| 障がい福祉サービス | 280件 |
| 病院・歯医者・薬局 | 312件 |
| インフォーマル | 2,490件 |

登録している情報について更新調査を8月から9月にかけて実施した。

令和6年度から地域包括支援センターと生活支援コーディネーターが年に1回集まり、互いの情報を共有し地域アセスメントを行う際に、かわナビを活用している。

他市から、活用方法について、問い合わせをいただき、ご説明している。

閲覧数が昨年度より増加しているのは、笑顔ミライちょきんと連携しているためではないかと考えられる。

（質疑）

- ・かわナビには、掲載団体のホームページのURLが掲載されているが、掲載団体のホームページからも、かわナビへアクセスできるようになればよい。URLの掲載されている団体に、依頼してはどうか。
⇒検討していく。

生活支援コーディネーターが介護予防ポイント付与対象団体を含め、団体とつながりを持ち、掲載情報の肉付けや更新を引き続き行っていく。

②介護保険運営協議会生活支援体制整備部会長（以下、部会長とする）との懇談会について

12月9日（火）に部会長が地域包括支援センターと第2層生活支援コーディネ

ネーターの20名と懇談会を行った。

この生活支援体制整備部会をより活かし、地域のニーズに応えるために今後もこのような場が必要である。

(出席者の感想)

- ・地域ケア会議と協議体について再認識する場になった。
- ・北部、南部に分かれ、少人数でじっくり話ができたらよい。
- ・年に1回が無理であれば、2年に1回など行って欲しい。

4. 次第2(4)「その他」について

通いの場に対する支援は、予算化について協議を行ったが、現時点で具体的なことは決定していないため、次回に報告する。

5. 閉会

次回日程 令和8年3月19日(木)

市役所7階 大会議室午後3時30分から